

十字架の力を用いる

十字架のみわざ

ヘブル 10:14 は、イエスの十字架の死によって完成されたものについて語っています。

「キリストは聖なるものとされる人々を、一つのささげ物によって、永遠に全うされたのです。」

一つのささげ物、あるいは、一つのいけにえとは、イエスご自身の十字架の犠牲です。その一つのささげ物により、イエスは聖なるものとされる人々を永遠に全うされました。つまり、イエスはご自身を信じるすべての人々の人生のあらゆる領域における時間と永遠性の必要をみな与えられたということです。イエスがやり残したことは、もはや何一つありません。すべてを成し遂げられました。それは、すべてに値する犠牲の完成でした。それが、この聖句の最初の部分です。

そして、聖とされている人々、また神のために選び分けられた人々、神に近づく人々についても語っています。それは、今も継続するプロセスです。イエスがなされたことは、一度きりの完全な完成です。しかし、それに対する私たちの感謝、適用は進行中です。まず、私たちは、実際の犠牲は、完全に全うされたものであるという事実から始める必要があります。

私は途上国でもよく奉仕をするとき、人々が理解できるように、とてもシンプルな表現をすることに努めます。ですから、私が用いている 2 つの話みなさんに紹介したいと思います。最初に、一年半前のパキスタンの話です。パキスタンは、人口 8400 万人の 98% がムスリムの国です。クリスチャンといえば、ほぼ名ばかりのクリスチャンで、ごくわずかの、抑圧され、見下された少数派です。しかし、主は、妻と私とその他 5 人のチームが行く道を開いてくださり、主要都市の 3 つで 9 日間に渡って神のことばを宣言しました。

私たちは、病人のために祈ることを前もって知らせていました。最初の集会は、当時人口 800 万人の主要の港町カラチでした。私たちが集会に行く前に、現地のパキスタン人クリスチャンのチームのリーダーが私たちを招き、クリスチャン地区を案内してくれました。私は、今まで多くの貧困を見てきましたが、あれほどの貧困と不衛生は初めてでした。それは、もう少しで本当に私は病気になってしまうような状況でした。私は、ムスリムの国でクリスチャンになることはどのようなものかを垣間見ました。さて、彼らは、他の伝道者がすでにそこに着き、カラチでひとつの集会が持たれるので、他の伝道者が行ったことがない別の地域に私たちを連れて行くと言いました。私は、そのリーダーに、「私たちは最初の集会をどこでする予定ですか。」と聞きました。彼は、「私たちの教会です。」と答えました。私は、人々の経済的状態全体を考えると、それがどのようなものになるかと思い巡らしました。私は、「何人ぐらいが来るでしょうか。」と聞きました。彼は、600 人ぐらいだと答えました。私は、「あなたの教会には何人入れますか。」と聞きました。彼は 300 人だと答えました。私はあえて収容人数の問題を解決しようとしませんでした。

そして、彼らは私たちを小さなバンに乗せ、集会が持たれるカラチ方面へと走りました。典型的なパキスタン時間で、1 時間遅れて到着しました。教会がある場所の近くに来て、教会を見ることはできませんでした、というのも、主要

道路ではなく、ほこりだらけの道の一つの大きな交差点におよそ 3000 人が集まっていたからです。それが、会衆でした。彼らが来た理由はとてもシンプルです。病人のために祈ると聞いたからです。

そして、彼らは群衆の中に私を押し込み、私と聖書、講壇がちょうど収まるくらいの壇の上に私を立たせ、私は四方からパキスタン人に囲われました。つまり、空間も、通路も、まったく何もありませんでした。人々はみな、地面に座っていました。私は、こう思いました。「神さま、私はこの人々に何を語ればいいのですか？」すると神は、今からみなさんに分かち合うこの話を語るようにという思いを私に与えてくださいました。私は彼らに言いました。「みなさんはお腹がすいています。私がオレンジ畑の所有者だとしましょう。私がみなさんにできる 2 つのことがあります。私は畑からオレンジを一つ取ってあなたに上げることができます。一時的にあなたの空腹を満たすでしょう。もう一つは、あなたをオレンジ畑に連れて行き、実がたくさんになっている木々を見せ、自分で取って食べてくださいと言うことができます。」そして私は、「今夜、みなさんをオレンジ畑に連れて行きます。みなさんは、自分で取って食べてください。」と言いました。

それが、今日ここでしたいことです。私はみなさんをオレンジ畑に連れて行きます。このオレンジ畑とは、十字架についての真理のことです。そして私は、その夜話す予定の簡単な概略を説明し、こう言いました。「さて、みなさんの中でイエスをあなたの個人的な救い主として受け入れている方はどれぐらいいらっしゃいますか。」すると、およそ半数の 1500 人ぐらいが立ち上がりました。さて、少なくとも 500 人以上がムスリムでした。私は、イスラム教とキリスト教の違いを説明する時間はありませんが、一つには、ムスリムは、イエスが十字架で成されたことを信じていません。そして、イエスが神の子であることを認めてはいません。ですから、その人たちが立ち上がった時、もちろん、通訳者を通してですが、私は彼らを祈りで導き、後について祈ってくださいと言いました。そして、このように祈り始めました。「主、イエス・キリストさま、私はあなたが私の罪のために十字架で死に、死からよみがえった神の御子であること、そして神への唯一の道であることを信じます。」すると、彼らは私の後について大きな声でそれらのことばを繰り返しました。私は、彼らのすべてが救われたとは言いませんが、ムスリムの国で 500 人以上のムスリムが、それらのことばを自国の他のイスラム教徒の前で言うことができたのは、聖霊の力によってのみ成されたことです。

そして、私は病人のために祈るという約束を守らなければ、と思いましたが、それを始める機会がありませんでした。どのようなケースでも、それには数時間かかるので、私は言いました。「いやしのために祈ってほしい人はどれぐらいいますか。」そして、90%ぐらいが手を上げたと思います。つまり、彼らは病んでいました。パキスタン人は病んでいます。本当に健康な人はほとんどいません。それは、多くの第三世界(途上国)では、かなり典型的なことです。私は、「みなさんのために祈りますので、あなたの悪い部分に手を置いてください。私が祈る時に神が触れてくださると信じてください。」私は祈りました。ウルドゥー語に訳してもらい、祈り終わりました。私は、何かしなければならぬと考え、「どのぐらいの人が神がいやして下さったと信じますか。」と聞きました。少しの人が恥ずかしそうに手を上げ始めました。それから、私の前から 3メートルぐらいの所で騒動が起きました、一人のパキスタン人クリスチャンがそこへ行って何が起きているのかをつきとめました。生まれつき耳も口も聞けない 12 歳のムスリムの少年でした。彼は一度も聞くことも話すこともできませんでした。そして、私が祈った時、彼は聞こえるようになり、話そうとしたのです。人々は彼らを壇上に立たせようとしたので、騒然となったのです。また、会衆の中のパキスタン人の女性たちもみな、自分に手を置いて祈ってもらうべきだと決め、私たちの許可を得ずに、私たちの腕をつかみ、自分たちの頭の上に手を置きました。

さて、そのニュースは広まり、私たちが次に行った場所には 16,000 人の群衆が出来上がっていました。そして、現地のパキスタン人は、その 9 日間で 8~9,000 人が救いの祈りをしたと言いました。そのグループのリーダーは当時、5 つの教会の責任を担っていましたが、一年後にはその数は 18 になっていました。それが、オレンジ畑に連れて行くということです。お分かりいただけましたか。

それから、それより少し前だと思いますが、私はザンビアでリーダーを中心とした 7,000 人の集会で奉仕しました。私は、6 日連続で午前中に十字架を体系的に教える計画をしていました。彼らは基本的にクリスチャンでしたので、私はこう言いました。「今、神さまは、素晴らしい倉庫を持っておられ、その倉庫は、霊的、物質的、肉体的に、現在と永遠においてあなたに必要なものすべてで満ちています。まさに、あなたが必要としているすべてのものです。しかし、その倉庫には番人がおり、あなたが何かを倉庫から出すためには、その番人と友達にならなければなりません。あなたは、その番人の名前を知っていますか。」何人かがイエスだと答えました。「素晴らしい答えですが、違います。倉庫の番人は聖霊です。」と私は答えました。神のすべての富、父と御子は聖霊の手の中にあるのです。それを理解することはなんと重要でしょうか。つまり、あなたはすべての正しい教理を持ち、すべての正しい理論を持ち、すべての正しいことを言うことができますが、あなたが得られるのは、聖霊から与えられるものだけです。聖霊は倉庫の番人です。

それから、私は彼らに言いました。「聖霊が、倉庫を開ける唯一の鍵を持っているのです。そしてそれは非常に特別な形をしています。どんな形かわかりますか。」彼らは、思いつかなかったもので、私は十字架だと答えました。聖霊が倉庫を開けるために十字架を使うときにだけ、神の財宝があなたに与えられるようになるのです。それが、今日みなさんにお話ししたいことです。

また、個人的な体験からもお話しすべきでしょう。以前にもお話ししましたが、私は第二次世界大戦のとき、イギリス軍のバラック小屋で真夜中に主と出会いました。私は救われるために教会に行くべきだと知らなかったほどの無知な異教徒でした。ですから、何かが起こる前に私は軍のバラック小屋で救われたのです。それから 10 日ほどして、私は同じバラック小屋の部屋で聖霊のバプテスマを受けました。私に教会に行ってバプテスマを受けるようにと言った人は誰もいませんでした。24 時間以内に、神は異言の解き明かしの賜物を下さいました。私は、霊的賜物を受け取るのに、6 ヶ月待つようには聞いたこともありませんでした。

それから間もなく、イギリス軍は私を北アフリカに送り、私はその後 3 年間北アフリカの砂漠に駐留しました。その間に、私は医者が治せないという皮膚病にかかりました。『神の薬瓶』という私の著書に私のあかすと、どのようにして徐々にいやされていったのかが書かれています。私は、病院を転々とし、最終的に、スエズ運河のアバラという場所にあったイギリス軍病院に行きつきました。カイロの町に当時とても変わった女性があり、彼女は救世軍の団長でした。団長であった夫が亡くなり、彼女が団長となりました。救世軍では、未亡人が夫の地位を継ぐことになっていました。彼女は当時 76 歳で、異言を話すため、当時救世軍の中ではとても変わっていました。そして、彼女は異言で話すことについて、とても熱心でした。彼女もまた、25 年前にインドでマラリアから神の癒しを受け、以来薬は必要なくなりました。私は一度彼女に会ったことがあり、この素晴らしい女性を神にいつも感謝しています。彼女は、入院している私のことを聞いて、小さなグループを集めました。クリスチャン運転手、小さな車、彼女の同僚の 25-30 歳ぐらいのアメ

リカ人の女性でした。彼らはアバラまで旅をしてきました。病院の敷地内に車を止め、団長はリボンのついた帽子をかぶり制服を着て、看護師の風格で病棟に歩いてきました。そして、私の外出許可を取り、車に乗りました。

そして、私の意見を聞くこともなく、気づいたときには私は小さな4人乗りの車の後部座席に座っていました。前には運転手と助手席に救世軍の団長、そして私の隣にはそのアメリカ人宣教師の女性が座っていました。団長が祈りましょうと言って、私たちが祈り始めると、私の隣の女性が揺れ始めたのです。彼女の体全体が揺れているのを隣で感じました。そして、彼女は異言で話し始めました。そして、私も揺れ始め、車の中の全員が揺れ出したのです。そして車も揺れ始めました。車は、まるで、でこぼこ道を時速80キロで走っているかのようでしたが、車のエンジンはまだかかっていなかったのです。私は、神がその車の中に入って来られたのだと知りました。さらに、それは私のために神が来てくださったのだと知って、私はへりくだらされました。

異言を語ったあと、その女性は、私が解き明かしてできることを知っていたのだと言いました。私は彼女の異言の解き明かしをしました。その中で彼女が語っていたことを、私は決して忘れることができません。それは、1942年のことです。今でも鮮明に覚えています。その言葉は、私の人生を変える大きなインパクトとなったので、みなさんにも聞いていただきたいと思います。「カルバリのみわざを覚えよ。完全なみわざ、すべてにおいて完全である。」イエスの十字架での最後のことばの一つは、「完了した。」で、ギリシャ語では、*tetelestai*(テテレスタイ)という一語です。それは、何かを完璧に成すという意味の完了形の動詞です。ですから、さらに詳しく言うと、「それは、完璧なる完璧、完全なる完全。」です。ですから、聖霊が「カルバリのみわざを覚えよ。その完全なみわざ、すべてにおいて完全である。」と言ったとき、私の頭の中では、聖霊の解釈は、完了した、と言っていました。そして、十字架でのイエスの犠牲的な死によって成就されたことを理解するなら、私の必要のすべては満たされるということ、聖霊は示してくださったとわかりました。私が必要としているもので、受け取ることができないものは何一つありません。それが啓示でした。

私は、その車に乗り込んだ時と同じく、病気のまま車から降りました。しかし、神は私の問題に答えを示してくださいました。それが、今日みなさんにお話したいことです。次のメッセージで、癒しについてお話しますが、すべての人がいやされるかは疑問です。神は一つの奉仕ですべての人を奇跡的にいやすわけではありません。癒しにはふさわしい方法というものが様々あります。私はその啓示のあと、癒しを受けました。それは、箴言4:20-22を通してです。

「わが子よ。私のことばをよく聞け。私の言うことに耳を傾けよ。それをあなたの目から離さず、あなたの心のうちに保て。見いだす者には、それはいのちとなり、その全身を健やかにする。」

「健やかに」というのは、薬という意味もあります。私はそれが解決だと思いました。神がみことばを通して私の全身の健康あるいは薬を与えてくださるのであれば、病気になる余地はありません。ですから、私はとても単純に、神のことばを薬として服用することを決心しました。私は、イギリス軍医療部隊の兵士だったので、人々がどのように薬を服用するのかを知っていました。毎食後の3回です。それこそ、私が神のことばを薬として服用した方法です。そしてそれは効果があったのです。私は、世界でも最も不健康な気候の中で、完全に、永久にいやされました。

私がみなさんに言いたいことは、神は、あなたを癒すご自身の方法を持っておられるということです。しかし、いかなる方法で癒しが成されたとしても、基本は、イエスが十字架で成されたことです。そして、私はあなたにオレンジを一

つだけ与えるのではなく、オレンジ畑に招待したいと思います、そこへ入ったら、あなたは歩き回って、ほしだけオレンジを取って食べることができます。そして、神のオレンジ畑をすべて食べつくすことはできません。

私は、その経験の結果として学んだことを、みことばからみなさんに分かち合いたいと思います。私は、十字架のイエスの死によって成就されたことを見出すことに決めました。そして、今も見いだしている途中です。それは、終わりのない学びです。しかし、私が信じているのは、十字架を理解することが鍵であるということです。その鍵とは、十字架で神が命令された交換がなされたということです。人類に、私たちひとり一人に当然のものとして与えられたすべての悪がイエスの上に臨み、罪のないイエスの従順のゆえに、信じる私たちにすべての良いものが与えられるようにさせたのです。とてもシンプルで、それは基本です。その真理が明らかになり、それはあなたの必要とするすべてが含まれています。もっと簡単に言いましょ。私たちの報いとしての悪がイエスに臨んだことにより、イエスにあるすべての良いものを私たちが受け取れるようになった、ということです。

それが神の恵みです。私たちは神に要求しませんでしたし、神にそうせよと命令もできませんでした。神がそうされることさえ知りませんでした。神がされていることを理解することができませんでした。しかし、神の測り知れない大きな恵みにより、その交換が成されたのです。さらに、預言者たちを通して、それが起こることを何百年も前に、神は預言していました。おそらく、その主な預言はイザヤ 53 章でしょう。今その箇所を開いて、何が書かれているのかを見ましょ。それは、名のない主のしもべについて書いてあります。そこには名前はありませんが、使徒たちと、新約聖書の著者たちは、イザヤ 53 章の名のないしもべは、ナザレのイエスであるとの理解でみな一致しています。イザヤ 53:6 を開きましょ。これは、イザヤ書の残りの 27 章の中で中心となる聖句で、実に贖いの聖句の中心です。

「私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かつてな道に向かって行った。しかし、主は、私たちのすべての咎を彼に負わせた。」

人類すべてにある罪とはなんでしょうか。私たちみな銀行強盗ではないし、姦淫を犯してもいないし、盗みや酔っぱらうこともしていません。私たちがしていないことをたくさん挙げることができます。しかし一つ、私たち全員がしてきたことがあります。私たちはみな、自分勝手な道を歩んできました。それを一言で言うと、反抗です。反抗はすべての人間の罪です。国や、肌の色、人種に関係なく、私たちはみな、反抗の罪があります。神の憐みは、イエスが十字架にかけられた時、私たちすべての罪、悪、反抗をイエスの上に負わせたのです。

今日は、旧約聖書の聖句を引用する時間はありませんが、ヘブル語でその単語は、abron で、単に罪や反抗と言うだけでなく、罪の悪影響すべてという意味です。同じことばが罪と結果の両方を意味します。神は、全人類の罪や反抗と反抗のすべての悪影響をイエスに負わせ、私たちが、それらの悪影響から解放され、イエスの義にあずかるようにされたのです。

さて、その交換の要素をいくつか見ていきたいと思います。みなさんにはっきりとつかみ取っていただきたいのです。悪がイエスに臨んだことにより、良いものが私たちに与えられることになりました。では、最初に、さっきのイザヤ書の 2 節前のイザヤ 53:4-5 を見ていましょ。

「まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みをになった。だが、私たちは思った。彼は罰せられ、神に打たれ、苦しめられたのだと。しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた。」

この聖句の中に 2 つの要素があります。一つは霊的、もう一つは肉体的なものです、霊的なものから話しましょう。イエスは、私たちの背きの罪と咎のために罰せられました。そして、イエスが罰せられたので、私たちは赦されました。赦されているとは、神との平和があるということです。赦されていない限り、私たちに神との平和はありません。神との平和は、ただ赦しによって訪れます。しかし、イエスが私たちの咎のために罰せられたので、赦しが可能となったのです。イエスは私たちが救われるために罰せられました。お分かりですね。

また、同じ節でこう言っています。

「まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みをになった。」

彼の打ち傷の結果、私たちはどうなりますか。いやされます。

みなさんはその確信を持つ必要があります。イザヤ 53 章に指を置いたまま、新約聖書の 2 つの聖句を開きましょう。まず、マタイ 8 章です。

「夕方になると、人々は悪霊につかれた者を大ぜい、みもとに連れて来た。そこで、イエスはみことばをもって霊どもを追い出し、また病気の人々をみないやされた。これは、預言者イザヤを通して言われた事が成就するためであった。『彼が私たちのわずらいを身に引き受け、私たちの病を背負った。』」

イエスが引用したのは何ですか。イザヤ 53:4-5 です。マタイはユダヤ人で、彼はヘブル語を理解しており、聖霊に導かれました。

次に、I ペテロ 2:24 を開きましょう。ペテロは再びイザヤ 53 章を引用しています。それは、I ペテロ 2:24 節の真ん中にあります。

「そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです。」

いやしのギリシャ語の動詞形は、医者というギリシャ語の単語から来ている、肉体的な癒しの標準ギリシャ語です。そして、それは現代ギリシャ語でも同じ意味です。ですから、とても明確です。十字架でイエスは私たちの病弱を取り、病を背負われ、彼の打ち傷で私たちはいやされました。イエスは身代わりとなったのです。それが十字架での交換の最初の 2 つの要素です。①私たちが赦されるためにイエスは罰せられた。②私たちが癒されるためにイエスは打たれた。

次に、イザヤ 53:10 節に目を移すと、成就されたことのさらなる展開が見られます。

「しかし、彼を砕いて、痛めることは主のみこころであった。もし彼が、自分のいのちを罪過のためのいけにえとするなら、彼は末長く、子孫を見ることができ、主のみこころは彼によって成し遂げられる。」

真ん中あたりのフレーズ、「もし彼が、自分のいのちを罪過のためのいけにえとするなら」に注目してください。イエスは、人類全体のための罪のいけにえとなられたのです。

そして、罪過のいけにえと訳されている語は、旧約聖書でも罪過と訳されています。レビ族の祭司職において、罪過のいけにえの律法に従って、罪を犯した人は、犠牲のささげ物を持ってこなければならなかったからです。それは羊や、山羊、雄羊、あるいは雄牛でした。その人は、それを祭司の所へ持っていき、自分の罪を祭司に告白します。祭司は、そのささげ物の動物の頭に手を置いて、象徴として罪をその人からささげ物の動物に移します。それから、祭司はその人ではなく、その動物をほふります。つまり、その動物がその人の罪と見なされ、人の罪の罰を支払いました。

さて、新約聖書は、結局は雄牛や羊、山羊は人の罪を償うことはできないと明確にしています。それらは、単にイエスの前段階の預言的描写に過ぎません。しかし、イエスのいのちは、まさしく罪のいけにえとなったのです。

Ⅱコリント 5:21 を開くと、パウロがこの事実を教えていることがわかるでしょう。それははっきりとさせるために、代名詞「この方」となっている箇所にも名前を入れて読みます。

「神は、罪を知らないイエスを、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、イエスにあって、神の義となるためです。」

さて、旧約聖書のいけにえの律法を理解しない限り、Ⅱコリント 5:21 で、パウロが「もし彼が、自分のいのちを罪過のためのいけにえとするなら…」とイザヤ 53:10 を引用しているのを十分に感謝することはできません。なぜなら、イエスのいのちが罪のためのいけにえとなった時、イエスのいのちは、人間の罪深さのゆえに罪となったからです。

あなたは、その交換を見分けるために神学者になる必要はありません。もう一度それを言いますから、みなさんがそれを正しく受け止めてくださることを期待します。「イエスは、私たちの罪深さにより罪とされた。それにより、私たちはイエスの義で義人とされる。」もう一度Ⅱコリント 5:21 を読み、あなたがそれを理解したかどうかを確かめましょう。

「神は、罪を知らないイエスを、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、イエスにあって、神の義となるためです。」

その交換に再び注目しましょう。「イエスは、私たちの罪深さにより罪とされた。それにより、私たちはイエスの義で義人とされる」ですね。イエスの義です。私たちのではありません。

では、もう一度言いますので、私の後について言ってください。「イエスは、私たちの罪深さにより罪とされた。それに

より、私たちはイエスの義で義人とされる。」あなたはホツと胸をなでおろすことができますか。あなたは義になるために、最善を尽くす努力をする必要はありません。イエス・キリストの義を信仰によって受け取らなければなりません。それに劣る義によっては、あなたは決して天国に入ることはありません。しかし、神はあなたや私に、神の義で義人とされる備えを下さいました。

次の交換は、ヘブル 2:9 です。多くの聖書箇所がありますが、これが一番シンプルで短いものでしょう。

「ただ、御使いよりも、しばらくの間、低くされた方であるイエスのことは見えています。イエスは、死の苦しみのゆえに、栄光と誉れの冠をお受けになりました。その死は、神の恵みによって、すべての人のために味わわれたものです。」

罪の報酬、あるいは罰は、死です。イエスが私たちの罪深さによって罪とされた時、死という罰を負うことは避けられませんでした。ですから、イエスは私たちのために死を味わわれたのです。あなたは死の反対が何であるかを知るために神学者になる必要がありません。イエスのいのちにあずかるのです。ヨハネ 10:10 です。

「盗人が来るのは、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのためです。わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。」

その交換はとてもシンプルです。「イエスは、私たちのために死を味わわれ、それにより、私たちはイエスのいのちにあずかります。」みなさん、一緒に言えますか。「イエスは、私たちのために死を味わわれ、それにより、私たちはイエスのいのちにあずかります。」それはとても明確で、論理的で、具体的ですね。みなさん、私はこれらの神のみことばからの真理に気づくのに、何年もかかったのです。私が何時間も、何日も、何週間も、何か月も、何年もかかったことをみなさんに 1 時間で分かち合っています。私は何年もかかったと言いましたが、それは祝福、特権でした。

次の交換は、ガラテヤ 3:13-14 です。

「キリストは、私たちのためにのろわれたものとなって、私たちを律法ののろいから贖い出してくださいました。なぜなら、『木にかけられる者はすべてののろわれたものである』と書いてあるからです。このことは、アブラハムへの祝福が、キリスト・イエスによって異邦人に及ぶためであり、その結果、私たちが信仰によって約束の御霊を受けるためなのです。」

十字架が木とあるのは、ヘブル語やスワヒリ語など一部の言語では、成長する木であれ、切り倒された木であれ、木と呼ぶからです。ですから、十字架は切り倒された木のことで。

いったい何人の神学者がその 2 つの^{あいたい}相対するものを見分けることができるでしょうか。悪とは何ですか。のろい。善とは何ですか。祝福です。ですから、十字架上のイエスはのろいとなりました。木にかけられる者はのろわれた者であることは、申命記 21:22-23 で言われています。つまり、イエスが十字架の木にかけられたとき、ユダヤの律法であるトーラー、旧約聖書を知っていたすべてのユダヤ人は、イエスがのろいとされたことを知っていたのです。イエスは、目に見えるのろいとされました。それにより、私たちが祝福を受けるためにイエスがのろいとなられたのです。

これは、神がこの4-5年の間に私を導いてくださった領域です。今、詳しく説明する時間はありませんので、私の著書『*How to Pass From Curse to Blessing*(英語のみ)』をお勧めします。あなたはのろいから贖われ、祝福を受けることを知っただけで放っておくことは、公平ではありません。その本はその手引書です。

のろいの7つの一般的しるしに触れておきましょう。ほとんどののろいは、単に個人だけにではなく、家族や共同体にも関係しています。聖書でのろいと祝福の両方に不可欠な特徴は、何か断ち切ることが起こらない限り、代々、あるいは世代を超えて続いていくものであるということです。ですから、私たちは何百年もさかのぼって、問題を持った人々を取り扱います。スコットランド人はのろい民族であると耳にしました。悪口というより、互いにのろい合います。1600年代に呪われ、それがなお家族に影響しているという2つの家族を私は数年間にわたって取り扱ってきました。一つの家族はスコットランド、もう一つの家族はオーストラリアです。

ともあれ、あなたの人生にもろい降りかかるかもしれない、私の個人的な観察による7つの一般的な特徴の基本を挙げましょう。もしそれが一つだけだったら、のろいがあるとは言えないと思います。しかし、いくつか当てはまる者があれば、それがあなたの家族のいくつかの領域やいくつかの世代で見られたなら、のろいがあることはほぼ確実にしょう。

一つ目、精神的、感情的問題

二つ目、度重なる、あるいは慢性疾患。特に、遺伝性のもので、それはのろいの特徴です。

三つ目、度重なる流産、あるいは、婦人科に関する問題。そして、病人への働きにおいて、妻と私はその問題に対しては、まずのろいとして取り扱います。

四つ目、結婚生活の崩壊と家族の不和。家族の崩壊や分裂の歴史があり、それが何年も続くなら、家族にのろいがあるのは間違いないでしょう。

五つ目、経済的な不足が続く。ある一定の時期に不足することもあると、私たちは知っていますが、それが続き、決してそこから抜け出せないのであれば、のろいであることはほぼ確実です。

六つ目、いわゆる事故の傾向。「私は、生まれつき事故に遭いやすい。」というものです。これは、保険会社があなたの保険料を査定する時、考慮する客観的な統計の事実です。

そして、七つ目、自殺や不審死の歴史がある家系。

私たちは、今日そのことに落ち込むのではなく、解決を宣言したいと思います。クリスチャンとして、私たちは問題にだけフォーカスする必要がないことを神に感謝します。私たちは解決に目を留めるために、問題を取り扱います。ですから、今、このことをしましょう。「イエスはのろいとなりました。私たちが祝福を受けるためです。」みなさんは、全員神学者です。準備はいいですか。口先だけで言うわけではありません。あなたがそれを言うたびに、神と、聖なる御使い、聖霊が、あなたの言うことをすべて書き留めます。イエスは、何の大祭司ですか。あなたの告白です。あなたは告白を行ないます。では、一緒に言いましょう。「イエスはのろいとなりました。私たちが祝福を受けるためです。」

次は、その一部ではありますが、とても重要なので、分けて行ないましょう。「十字架のイエスは、私たちの乏しさを

しのび、それにより私たちはイエスの豊かさにあずかる。」これは、私が何年も前にニュージーランドで啓示として受け取ったものです。私は、ある年、メッセージをするために最初の妻と一緒にニュージーランドに招かれ、そこに着いたとき、彼らは、アメリカからの交通費を出してくれると約束してくれました。彼らには、お金がありませんでした。でもそれでもよかったのです。彼らは、献金を集めるので、献金についてメッセージしてほしいと私に言いました。私は刺激されました。確かそれはオークランドだったと思います、私はお金のことについて何度も語ってきており、クリスチャンの財政における神の約束についての本も書いています。ですから、私は話のアウトラインもできており、それを話すつもりでしたが、不思議なことが起こりました。私がアウトラインを話そうとしていたとき、心の中では十字架のイエスを見ていました。そして、イエスを見ると、完全に裸でした。貧困の特徴を定義した時、彼ら全員がまさに十字架のイエスに当てはまるのを見ました。そして、彼らは最後に講壇上のりんごの箱4つに献金を集めました。人々は進み出て、お金や約束献金を入れました。その一回の献金で、すべての費用が満たされました。

翌日、妻と私は牧師と一緒にオークランドにおり、私たちは前日約束したお金を彼らの口座から引き出しに行く人々に出会いました。私は、あれほど豊かな献金を見たことはありません。人々は聖書が言う、さらに豊かに与える人々です。彼らは与えることの興奮に熱狂しているも同然のような人々でした。

今、みなさんに私が得た啓示を分かち合いたいと思います。まず、聖書を開きましょう。新約聖書Ⅱコリント 8:9 です。

「あなたがたは、私たちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられました。それは、あなたがたが、キリストの貧しさによって富む者となるためです。」

その^{あいたい}相対するものを知るために神学者になる必要はありませんね。悪いものは何ですか。貧困です。良いものは何ですか。豊かさです。

さて、Ⅱコリント 9:8 の交換の相対する側面はすでに読みましたが、もう一度やっておきましょう。「神は、あなたがたを、常にすべてのことに満ち足りて、すべての良いわざにあふれる者とするために、あらゆる恵みをあふれるばかり与えることのできる方です。」あなたの人生の中にその約束ではカバーできないものはあるでしょうか。神はあらゆる恵みをあふれるばかりに与えてくださいます。いくらかの恵みではなく、あらゆる恵みです。それは、私たちが常にすべてのことに満ち足りて、すべての良いわざにあふれる者とするためです。それが、十字架の上でのイエスの身代わりの犠牲によって可能とされた神の民のための神の備えのレベルです。イエスは貧しくなられました。私たちが富む者となるために。私は、むしろ満ち足りるというほうを好みます。すべてのクリスチャンが銀行に多額の預金があるとか、高級車に乗るとするのは決して聖書的ではないと思うからです。すべてのクリスチャンのすべての必要が満たされ、他の人に与えるために余りあるようにというのが神のみこころであると信じます。なぜなら、受けるより与える方が幸いだからです。そして、神はご自身の子どもたちが一人でも神が与えてくださる祝福のレベル以下の生き方をすることを望まないため、他の人に与える高いレベルを持つことができるように、満ちあふれるばかりに与えてくださるのです。

ある人々は、イエスの地上での奉仕を、施しを求めてポロ服を着て巡回する貧しい説教者のようにとらえています。それは真実ではないと思います、イエスは貧しかったとは思いません。イエスは当時の一般人と同じ服を着て、その

上には継ぎ目のない、上品な上着を着ており、それがあまりにも高価なものであったために、十字架で兵士たちはそれを引き裂くことをせず、くじを引いたのでした。イエスは多くの現金を持ち歩かず、ただ、父のクレジットカードを使っていたと言わせてください。5000人の男に加え、女性や子どもに荒野で食べ物を与え、十分満腹させることができる人は、貧しくありません。税金についての質問が持ち上がったことがありました。イエスは、ペテロを銀行に遣わしたのではなく、ガリラヤ湖に遣わしました。そして、税金のためのお金を手に入れました。

イエスは最後の晩餐で弟子たちに言いました。「わたしがあなたがたを、財布も旅行袋もくつも持たせずに旅に出したとき、何か足りない物がありましたか。」彼らの答えはどうでしたか。「いいえ。何もありませんでした。」豊かなサポートをもらって、車や家を持っているのに、多くのことに欠けているたくさんの宣教師がいます。しかし、最初の使徒たちは神の豊かさから得ることができたので、何一つ欠けているものはありませんでした。

では、のろいの章を少し見てみましょう。それはどこでしょう。のろいの章をご存知ですか。申命記 28 章です。祝福とのろいです。68 節ある長い章です。最初の 14 節は祝福で、残りの 54 節はのろいです。のろいが何であるかを疑う方は、それらの 54 節を読んでみてください。あなたが祝福を楽しむべき時に、のろいが続いているクリスチャンであることを発見するかもしれません。47、48 節にのろいのリストがあります。これはのろいであることを覚えておいてください。申命記 28:47-48 です。

「あなたがすべてのものに豊かになっても、あなたの神、主に、心から喜び楽しんで仕えようとしないので、あなたは、飢えて渴き、裸となって、あらゆるものに欠乏して、主があなたに差し向ける敵に仕えることになる。主は、あなたの首に鉄のくびきを置き、ついには、あなたを根絶やしにされる。」

神のみこころはあなたが豊かになることです。しかし、不信仰と不従順になると起こる 4 つのものがあります。飢え、渴き、裸、あらゆるものへの欠乏です。一言で言うと、貧困です。絶対的貧困です。それ以上の貧困はあり得ないという貧困です。飢えて、渴いて、裸で、あらゆるものに欠乏するのです。

では、十字架のイエスのことを少し考えてください。イエスは 24 時間食べていなかったのに飢えていました。イエスは渴いていました。最後のイエスのことばの一つに、「わたしは渴く。」があります。イエスはすべての衣をはがされて裸でした。イエスはあらゆるものに欠乏していました。持っているものは何一つありませんでした。イエスの埋葬の時が来たとき、借り物の布と借り物の墓に収められました。なぜでしょうか。イエスは貧困ののろいに疲れきたのは、私たちがどうなるためですか。豊かになるためです。その交換が理解できますか。

では、一度私が言いますので、そのあと一緒に言いましょ。 「イエスは私たちの貧しさに耐えられた。それは、私たちがイエスの豊かさにあずかるためです。」では一緒に言いましょ。「イエスは私たちの貧しさに耐えられた。それは、私たちがイエスの豊かさにあずかるためです。」うれしいです。それは良き知らせです。クリスチャンが喜ぶことに罪はありませんよ。

では、時間がなくなってきたので、あと 2 つの側面とさっとやりましょ。イエスは、私たちの恥を耐え忍び、それにより私たちがイエスの栄光にあずかる者とされています。マタイ 27:35-36 を開いて、十字架の描写を見てみましょう。

「こうして、イエスを十字架につけてから、彼らはくじを引いて、イエスの着物を分け…」

彼らはイエスの着物をすべてはぎとりました。当時の男性は 4 枚の着物を着ていました。兵士は 4 人いました。一人一枚ずつ取りました。それから継ぎ目のない上着のためのくじを引きました。そして、次の節にこうあります。

「そこにすわって、イエスの見張りをした。」

これは、思慮深い言い方であると思います、イエスは裸にされ、すべての人の目にさらされました。イエスについてきた女性たちが離れて立っていたという福音書の記録に気づくなら、非常に興味深いです。近くに来た女性は、イエスの母だけでした。聖書は思慮深いです。イエスは恥ずかしさを耐え忍びました。

では、^{あいたい}相対するものは何でしょう。ヘブル書をもう一度開けましょう。ヘブル 2:10 で、先ほど読んだ次の節です。

「神が多くの子たちを栄光に導くのに、彼らの救いの創始者を、多くの苦しみを通して全うされたということは、万物の存在の目的であり、また原因でもある方として、ふさわしいことであつたのです。」

神の目的は何ですか。多くの子たちを何に導きますか。栄光です。それはどのようにして可能なのでしょうか。イエスが私たちの恥を耐え忍んだので、私たちはイエスの栄光にあずかることができるのです。

人々のカウンセリングをしていてわかったことは、人間の心の傷で一番深いものの一つは、恥であるということです。様々な原因がありますが、現代の文化の中での一つの一般的な原因は幼少時代に性的虐待を受けた子どもたちに見られます。そして、アメリカでは、4 人に 1 人の子どもにその事実があると見られています。それは、傷跡、恥を残します。しかし私たちがその問題を止める必要がないことを神に感謝します。私たちには解決があります。私は多くの人々を助けてきました。イエスはあなたの恥を耐え、あなたをイエスの栄光にあずかる者とさせていただきました。

誰かを特定して言っているわけではありませんが、神に顔を上げて祈ったことがない人を見たことがあるでしょう。常に顔を伏せたままです。通常、その問題は恥です。人は、解放されると、ヨブ記にあるように、「汚れのないあなたの顔を上げることができます。多くの場合、私たちは、自分に付きまとう隠れた鎖に気づきません。しかし、すべての鎖からの解放は、十字架を通して与えられます。

ですから、交換をしましょう。一緒に言いましょ。「イエスは私の恥を耐え、それにより私はイエスの栄光にあずかる。」

もう一つで締めくくりましょう。これはリストの最後ではありませんが、今日の学びの最後です。最後の交換は、拒絶と受け入れです。人々を助ける中で、この結果に行きつきましたが、拒絶は人間の心が抱える最も深い傷です。拒絶のしるしは、常に外部からのぞかれていると感じている人です。

もう一つの拒絶のしるしは、愛を表現することができないことです。ヨハネは、私たちは神を愛しています、なぜなら、神がまず私たちを愛してくださったからだと言っています。私たちは、自分に対する愛が表現されたことがなければ、愛を表現することはできないと私は思います。愛を表現する解放のためには、愛の表現を受ける必要があります。私たちの住む現代社会のあまりにも多くの拒絶をもたらす最も一般的な理由は、両親の態度とふるまいです。第一に、女性が妊娠し、その子宮の中にある小さな新しいいのちに怒りを持ち、「赤ちゃんなんてほしくないわ。」のようなことを言うなら、その小さな命は子宮の中で拒絶を感じ取り、拒絶の霊を持って生まれることが多いのです。私はそのケースを多く扱ってきました。

一方、赤ちゃんが生まれたとき、神によってすべての赤ちゃんに植え付けられる最初の願いは、両親から来る温かい表現の愛です。何よりも父親からです。私は、温かく表現された父親の愛が子どもに安全を与えるという結論に至りました。お父さんの腕と胸にしっかりと抱かれるその力強さ。しかし、私たちの生きる現代文化では、アメリカの半数の子どもたちは、そのような受け入れられ方をしていません、そして、その子どもたちは、拒絶の傷を内に秘めて人生を送るのです。解決があることを神に感謝します。

これに関連した短いお話をしましょう。何年前か、私はアメリカでキャンプ・ミーティングのメッセージの奉仕があり、キャンプ場を横切っていました。遅刻しそうだったので、足早に歩いていました。すると、反対側から一人の女性が足早に歩いて来て、衝突しました。互いに姿勢を整えた後、彼女はこう言いました。「プリンスさん、もし神が私に、あなたに話させてくださるなら、と祈っていたら、あなたに会うことができました。」私は、「出会いましたね。でも、私は今 2 分ほどしかありません。メッセージのために講堂に行かなければならないんです。あなたの問題は何かですか。」と言いました。すると彼女は 1 分ほど話し、あと 20 分ぐらい話す勢いでした。私は言いました。「いいですか。もう時間がないのです。あなたの問題はわかりました。私のあとについてこの祈りをしてください。」私は、どう祈るかを考えていませんでした。何を祈ろうとしているかを彼女に伝えませんでした。しかし、このように祈りました。「神さま、あなたが私の父で、私はあなたの子どもであることを感謝します。あなたは私を本当に愛してくださっています。私は拒絶されていません。私は望まれなかった子供ではありません。私は、宇宙で最高の家族である、神の家族の一員です。神よ、感謝します。あなたは私の父で、あなたは私の子どもです。あなたは私を愛し、私もあなたを愛しています。感謝します。感謝します。」それを言って、その人と別れました。一ヶ月ほど経って、私はその女性から手紙を受け取りました。彼女は、自分が誰であるかを私がわかるように私たちが出会った状況を説明していました。そして、「プリンスさん、これをお伝えしたいのです。あなたの後について祈ったシンプルな祈りが完全に私の人生を変えました。」彼女に何が起こったのでしょうか。彼女は、拒絶から受容へと移されました。彼女は神の子どもであるとは、どういうことなのかが分かったのです。

みなさん、もしあなたの両親があなたを失望させたなら、私たちには変えることのできない過去が多くあります。しかし、あなたの神との関係が私たちに保証されています。

イエスを見てみましょう。これが最後です。マタイ 27:45-51 です。

「さて、十二時から、全地が暗くなって、三時まで続いた。三時ごろ、イエスは大声で、『エリ、エリ、レマ、サバクタニ』と叫ばれた。これは、『わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか』という意味である。すると、

それを聞いて、そこに立っていた人々のうち、ある人たちは、『この人はエリヤを呼んでいる』と言った。また、彼らのひとりがすぐ走って行って、海綿を取り、それに酸いぶどう酒を含ませて、葦の棒につけ、イエスに飲ませようとした。ほかの者たちは、『私たちはエリヤが助けに来るかどうか見ることにしよう』と言った。そのとき、イエスはもう一度大声で叫んで、息を引き取られた。すると、見よ。神殿の幕が上から下まで真っ二つに裂けた。そして、地が揺れ動き、岩が裂けた。」

このように、イエスは十字架の肉体的影響で死んだわけではありませんでした。ピラトはイエスがすでに死んだと聞いたとき、通常からするとあと 2 時間は持つはずだったので、驚きました。イエスは何により死んだのでしょうか。イエスは心碎かれて亡くなりました。何がイエスの心を砕いたのでしょうか。拒絶です。誰からの？ そう、父です。宇宙の歴史で初めて、神の子が父に叫び、父はお答えになりませんでした。父は耳を閉じ、目をそむけました。なぜでしょうか。なぜなら、イエスは、私たちの罪深さで罪ある者とされ、神は好意的に罪を見ることができないからです。

イエスは、私たちの拒絶を耐え忍ばれました。そしてイエスがご自分の霊をあきらめた直後に起こった最初のことは、神殿の幕が上から下まで真っ二つに裂けたことでした。その幕は極めて分厚いものでした。人間の力では、それを下からであっても 2 つに裂くことはできません。しかし、それは、神がされたという確約であったため、上から下へと裂けました。それは聖くない人間と聖なる神を隔てる幕でした。イエスが私たちの拒絶に耐えたとき、神はご自身の子としての受け入れを私たちに与えてくださいました。

エペソ 1:3-6 を少し見ましょう。

「私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。神はキリストにあつて、天にあるすべての霊的祝福をもって私たちを祝福してくださいました。すなわち、神は私たちを世界の基の置かれる前から彼にあつて選び、御前で聖く、傷のない者にしようとされました。神は、みむねとみこころのままに、私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定められました。それは、神がその愛する方にあつて私たちに与えてくださった恵みの栄光が、ほめたたえられるためです。」

交換は何ですか。みなさんをためしてみましよう。「イエスは私たちの拒絶を耐え忍び、それにより私たちは神に受け入れられるものとされる。」その通りです。

では、これまで見てきた交換の 8 つの側面をざっとおさらいしましょう。私が一度言いますので、みなさんは、2 回目に私の後について言ってください。

「イエスは罰せられた。それにより私は赦された。」みなさん、これを個人的にとらえてください。ですから、私たちではなく、「私」と言いましよう。

「イエスは罰せられた。それにより私は赦された。」

「イエスの打ち傷により、私はいやされた。」

「イエスは私の罪深さとなられ、それにより、私はイエスの義で義人とされた。」

「イエスは私の死を死なれたので、私はイエスのいのちにあずかった。」

「イエスは私のためにのろいとなられ、それにより私は祝福を受ける。」

「イエスは私の貧しさに耐え、それにより私はイエスの豊かさにあずかった。」

「イエスは、私の恥を耐え忍ばれたので、私はイエスの栄光にあずかった。」

「イエスは私の拒絶を耐え忍び、それにより私は受け入れられた。」

私たちが心からそれを信じるなら、私たちがしなければならないことは何でしょうか。神への感謝以外に私たちができることは何もありません。少し時間を取って感謝をささげましょう。自由に一人一人感謝をささげてください。信仰の最高の表現は、神に感謝することです。神さま、感謝します。主よ、ありがとう、イエスさま感謝します。あなたの素晴らしい御名をほめたたえます。主よ、あなたを信じます。感謝します。聖なる主イエスの御名を祝福します。あなたが私たちのためにしてくださったすべてのことを感謝します。

では、今、みなさんの中でイエスがあなたのためにしてくださったことに対して、今まで個人的に感謝したことがないかたはいらっしゃるでしょうか。イエスはあなたに代わって死んでくださいました。それは、イエスがあなたの罪深さで罪ある者とされ、それによりあなたがイエスの義によって義人となるためです。イエスはあなたの拒絶を耐え忍ばれ、それであなたはイエスの受容を得ることができました。今から少しだけ時間を取って決心する機会を持ちたいと思います。今話しているのは、永遠のいのちを受け取るために、自分の罪のために、自分のたましいのために、イエスの贖いを今まで実際に受け入れたことがない人についてです。今、神のこぼからあなたの目の前にそれが差し出されています。神の御霊はあなたの心を引き寄せ、言っておられます。「あなたを今日私のものとしたい。私があなただを得ていることを確かにしたい。不確かや混乱を抱えたままこの場所から出て行ってほしくない。」それはとてもシンプルです。今、それを神と解決したいかどうかをお聞きたいのは、ただ一つのシンプルなことです。今その場所で立ち上がって、祈りを導きますのであなた自身のもので下さい。時間がほとんどないので、ためらわないで、待たないでください。あなたのためにイエスの犠牲を受け入れるあなたの個人的な確信が必要だと感じているでしょう。イエスは、人の前でイエスを告白するなら、イエスも、父の前であなたを告白すると言いました、あなたが人の前でイエスを否定するなら、イエスも父の前であなたを否定します。ですから、今あなたがその告白をしたいと思うなら、神があなたと語ってくださっていますから、回りを見ないでください。恥ずかしがらないで、立ち上がって言ってください。「神さま、私はそれがほしいです。」

神さま、私たちはイエスの御名によって祈ります。解放してください、恐れに縛られている人々を解放してください。主イエス・キリストの御名によって今彼らを解放してください。

では、今立ち上がって主に祈った方、私の後について祈ってください。「主、イエスさま、私はあなたが神の御子であること、神への唯一の道であることを信じます。私の罪のために十字架で死なれ、死からよみがえりました。私のためにしてくださったことを感謝し、今信仰によってそれを受け取ります。私は、イエスさまを私の救い主として受け入れ、私の主として告白します。いま私を受け入れ、神の子どもとしてください。イエスの御名によって、祈ります。アーメン。」